令和８年３月30日(月)

令和７年度 まちづくり㈱ZENコネクト事業報告書事業報告書

（評価・分析）

指標項目		2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
●観光消費額 （百万円）	目標	4,500	5,000	4,700
	実績	4,040	5,320	4,343
●延べ宿泊者数 （人）	目標	15,000	15,500	16,000
	実績	18,568	19,994	17,030
●来訪者満足度 （%）	目標	90.0%	90.0%	90.0%
	実績	88.9	92.8	91.4
●リピーター率 （%）	目標	50.0%	50.0%	50.0%
	実績	46.2	42.0	43.3

1. 総合評価

令和７年度は、来訪者満足度が目標を上回る成果を達成した一方で、観光消費額、延べ宿泊者数、リピーター率については目標未達となった。

特に、宿泊者数は前年を下回るものの目標値を上回る実績を維持しており、一定の誘客効果が認められる。一方で、観光消費額が宿泊者数の減少以上に落ち込んでいることから、一人当たり消費額の減少や滞在中の消費機会の不足が課題として考えられる。

2. 指標別評価

(1)観光消費額

(目標)4,700百万円　　(実績)4,343百万円　　(達成率)92.4%

・前年度(5,320百万円)と比較すると約18.4%減少している。

・要因は、北陸新幹線福井延伸の効果が低下し、観光入込数が減少したことと観光客の消費単価の落ち込みが考えられる

・町内での滞在時間の延長、高付加価値商品の造成、町内周遊促進による消費単価向上が今後の課題

(2)延べ宿泊者数

(目標)16,000 人　　(実績)17,030 人　　(達成率)106.4%

・前年度(19,994 人)と比較すると約 14.8%減少したものの、目標は達成している。

・閑散期の誘客対策、連泊促進、インバウンド・広域観光客の取り込みが今後の課題

(3)来訪者満足度

(目標)90.0%　(実績)91.4%　(達成率)101.6%

・前年度(92.8%)より 1.4 ポイント低下したものの、高い水準を維持している。

・観光サービスや受入体制への評価は良好である。

・満足度向上施策の継続、デジタル案内・多言語対応の周知(活用してもらえるように)が今後の課題

(4)リピーター率

(目標)50.0%　(実績)43.3%　(達成率)86.6%

・目標を達成することはできなかったが、前年度(42.0%)より 1.3 ポイント改善している。

・初回訪問者の獲得は進んでいる一方、再訪につながる仕組みづくりが課題である。

・SNS 等による継続的な情報発信、季節ごとのイベント開催、町内で使えるクーポンなど再訪促進施策が今後の課題

3. 総括

令和 7 年度は、来訪者満足度および延べ宿泊者数において目標達成が見られ、観光地としての受入体制や誘客の成果が一定程度確認できた。一方で、観光消費額およびリピーター率は目標未達となり、特に観光消費額は前年実績から大きく減少していることから、宿泊者数の確保だけでなく、一人当たり消費額の向上を図る施策が重要である。

今後は、地域資源を活用した高付加価値コンテンツの造成や周遊・体験型観光の充実を進めるとともに、満足度の高さを再訪につなげる情報発信やプロモーションを強化し、観光消費額の拡大とリピーターの増加を図る必要がある。